

リスク管理債権情報

<貸付金> (単位:千円)

区 分	平成17年度
破綻先債権額(A)	617,180
延滞債権額(B)	3,247,365
3ヶ月以上延滞債権額(C)	181,999
貸出条件緩和債権額(D)	1,235,385
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	5,281,930
貸付残高(F)	11,412,119
比率(E) / (F) × 100	46.28%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<保証債務> (単位:千円)

区 分	平成17年度
破綻先債権額(A)	607,020
延滞債権額(B)	567,226
3ヶ月以上延滞債権額(C)	213,541
貸出条件緩和債権額(D)	522,382
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	1,910,169
保証債務残高(F)	10,525,953
比率(E) / (F) × 100	18.15%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<求償権> (単位:千円)

区 分	平成17年度
破綻先債権額(A)	1,733,548
延滞債権額(B)	1,781,618
3ヶ月以上延滞債権額(C)	0
貸出条件緩和債権額(D)	0
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	3,515,166
求償権残高(F)	3,515,166
比率(E) / (F) × 100	100.00%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

破 綻 先 債 権 額 (A) 会社更生、破産、民事再生手続開始、整理又は特別清算の申立てにかかると見込まれる貸付の元金残高。

延 滞 債 権 額 (B) 自己査定における破綻懸念先と実質破綻先の元金残高。

3ヶ月以上延滞債権額 (C) 弁済期限を3ヶ月以上経過して延滞となっている貸付の元金残高で、破綻先債権額及び延滞債権額に該当しないもの。

貸 出 条 件 緩 和 債 権 額 (D) 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として元本の返済方法の変更及び貸付期間の延長の措置を図った貸付先の元金残高で、破綻先債権額、延滞債権額及び3ヶ月以上延滞債権額に該当しないもの。